

## 平成30年度 指定管理施設運営状況中間評価表

### 1. 施設の概要

施設の名称	リフレッシュセンター鱈の里及び野営場施設		
指定管理者	団体名	一般社団法人 むつ市脇野沢農業振興公社	
	代表者	理事長 畑 中 誠	
	所在地	むつ市脇野沢七引201番地5	
指定期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成33年 3月 31日 (3年間)		
指定管理業務の概要	(1)交流事業等による地域の活性化 (2)施設、設備の提供 (3)施設の使用許可、使用に係る料金徴収 (4)施設の維持及び修繕		

### 2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	7, 365	5, 188	△2, 177
うち利用料金額	918	352	△566
うち指定管理料	6, 447	4, 836	△1, 611
支出合計 (B)	7, 365	4, 039	△3, 326
うち人件費	4, 277	2, 384	△1, 893
収支差 (A-B)	0	1, 149	1, 149
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由			

### 3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	鱈の里入館者数	30, 000人	14, 824人	△15, 176人
	調理実習室利用日数	160日	0日	△160日
	バンガロー利用棟数	35棟	30棟	△5棟
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無)				

### 4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
物産販売事業 (4/1~10/31)	4, 900	6, 507	6, 390

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	A
② 設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	A	A
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	A
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
② 在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	A
② 入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③ 員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	A	A
② 備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
③ 働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	A
④ 用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	A	A
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	A
② 常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	A
③ 犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	A
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	A	A

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

リフレッシュセンター鱈の里は、「道の駅わきのさわ」としても運営しており、来訪者数は昨年度より増えている状況となっているが、施設の老朽化等が顕著に見受けられていることから、できる限りの修繕等で対応し、来訪者に不快感を与えないよう努めている。

バンガローについては、サル、カモシカ隊の利用が殆どであるが、利用困難な5人用については利用を中止し対応した。今後の管理について市と協議していきたい。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

近隣施設や観光遊覧船の利用者に立ち寄っていただけるよう、また、自主事業としてイベントの実施やPRを行い、利用促進に繋がる取組を積極的に実施していただきたい。